

即時重合レジンを用いた蹄底ブロックの考案

淡路基幹家畜診療所 三原診療所

是枝明博 久野尚之 長谷川弘哉 宮本義隆

玉井 登 住 伸栄 曾賀久征

蹄底潰瘍に対する蹄病処置として、ヒールレス処置や市販の蹄底ブロックの装着が行われる。しかし、ヒールレス処置は蹄踵が低い場合や病変が広範囲に及んでいる場合は困難であり、また蹄底ブロックは装着後に脱落するなどの問題点がある。そこで今回、即時重合レジン（以下、レジン）を用いた蹄底ブロック（以下、レジンプロック）を考案した。

材料と方法

1. 農場概要 フリーストール牛舎 搾乳牛 90 頭 育成牛 60 頭 削蹄年 2 回

2. レジンプロックの装着法

- 1) 罹患蹄の削蹄を実施する。
- 2) レジンを混和後、健康蹄全体に圧着し成形する。
- 3) 内外蹄負面の高さを調整する。
- 4) 5～6 分後レジンが変色し熱くなると硬化完了する。
- 5) 病蹄の処置をする。

3. 症例

後肢の蹄底潰瘍 4 頭に対してレジンプロックを装着した。

結果

レジンプロック処置 1 回あたりのレジンの使用量は約 150g、材料費は約 790 円であった。レジンプロック処置後の歩様や起伏等に問題はなかった。全症例ともレジンプロックは約 1 ヶ月間脱落や破損がなく治癒した。

まとめ

当農場では、病変が広範囲に及ぶ重度の蹄底潰瘍には蹄底ブロックの装着を行っていたが、装着後脱落が頻繁に見られたため、レジンを用いたレジンプロックを考案した。レジンは硬化完了するまで 5 分程度時間があるため、その間に自在に成形させて蹄の形状や大きさに応じて処置することが可能であった。蹄底潰瘍は蹄病処置後約 20 日で角化が進み治癒するとされている。レジンプロックが約 1 ヶ月間脱落や破損がなかったことは、患部の角化を促進し全例治癒につながったと考えられた。材料費は 1 回あたり約 790 円と市販の蹄底ブロックに比べて 3 割程度安価であった。これらのことより、レジンプロックは蹄底潰瘍などの蹄病に対する有用な処置であると考えられた。